

アジア中小型株の投資環境

アジア中小型株オープン
追加型投信／海外／株式

2018年7月25日

アジア中小型株オープンでは、東南アジア諸国連合（アセアン）加盟国を中心としたアジア（日本を除く）の中小型株式に投資しています。当レポートでは、アジアの中小型株市場において、注目している投資テーマについてご案内いたします。

■ アセアンの経済指標は概ね堅調に推移しており、外部要因への過度な警戒感の解消へ

アセアン株式市場は、米中貿易摩擦による悪影響やアセアンの通貨安も伴う資本流出など外部要因への警戒感が強まったことを受けて、年初来では軟調な展開となっています。しかし、アセアン各国の経済指標は概ね順調に推移していることから、今後も企業業績の安定的な拡大が見込まれます。そのため、外部要因への過度な警戒感が解消に向かい、株式市場は底堅い展開になると予想されます。

【インドネシアでは消費マインドの改善が続く】

インドネシアの6月の消費者信頼感指数は前月比で3.0ポイント上昇し、過去最高の128.1ポイントとなりました。要因としては、耐久消費財の消費が増えていることや、将来の収入増加に対する期待が高まっていることなどが挙げられます。また、インドネシア政府がガソリン販売価格を据え置いていることや、政府備蓄米を放出したことなどによって消費者物価指数の上昇率が低水準となっていることも、消費者マインドを後押ししていると考えられます。

そうしたことから、インドネシアの中小型株市場においては、消費者マインドの改善が業績拡大に繋がると考えられる小売株、不動産株、金融株などに注目しています。

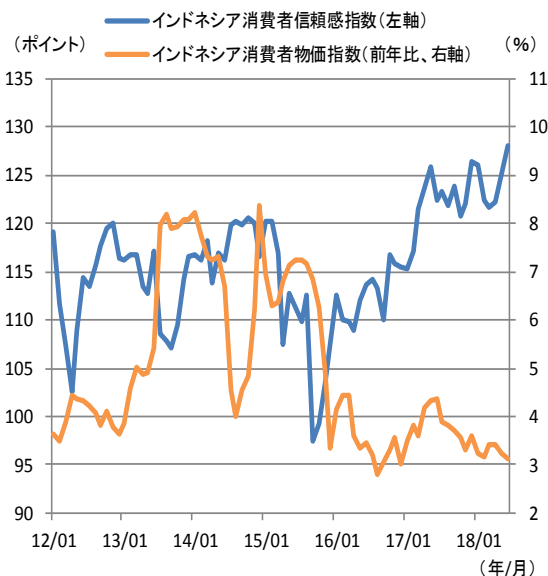
【マレーシアでは輸出拡大が景気を後押し】

マレーシアの商品輸出額は、概ね右上がりの堅調な推移が続いています。2018年に入ってから、機械・自動車、エレクトロニクス製品などの工業品の輸出が順調に拡大しています。4月以降は通貨リンギ安が進行していることも、マレーシアの製造業にとって好材料となっています。また、エネルギー価格の上昇もマレーシアの輸出額の増加に寄与しています。同国はエネルギーの純輸出国であるため、資源輸出額の増加によって、資源関連の民間企業や国営企業の収益性が改善し、景気拡大を後押しすることが期待されます。

マレーシアの中小型株式市場においては、輸出拡大によって業績成長が見込まれる素材株や自動車株などに注目しています。

インドネシア消費者信頼感・物価指数の推移

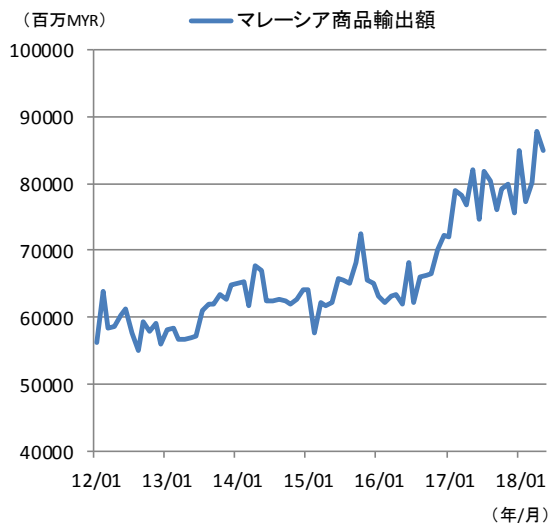
（月次：2012年1月～2018年6月）



（出所）Bloombergのデータを基に岡三アセットマネジメント作成

マレーシアの商品輸出額の推移

（月次：2012年1月～2018年5月）



（出所）Bloombergのデータを基に岡三アセットマネジメント作成

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、「アジア中小型株オープン」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡しますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

アジア中小型株オープン
追加型投信／海外／株式

運用状況（作成基準日 2018年7月23日）

設定来基準価額の推移
（2013年2月28日～2018年7月23日）



※基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後です。
※分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。
※グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。
※小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。
※構成比率は、当ファンドの純資産総額に対する比率です。

国・地域別構成比率		
	国・地域	比率
1	タイ	15.2%
2	香港	14.9%
3	マレーシア	14.3%
4	フィリピン	12.9%
5	インドネシア	9.7%
6	韓国	8.7%
7	台湾	7.1%
8	インド	5.8%
9	シンガポール	3.8%
	短期金融商品・その他	7.5%

セクター別構成比率		
	セクター名	比率
1	一般消費財・サービス	26.0%
2	情報技術	17.4%
3	金融	11.4%
4	資本財・サービス	10.6%
5	生活必需品	10.5%
6	不動産	8.8%
7	素材	3.9%
8	ヘルスケア	3.5%
9	エネルギー	0.4%
	短期金融商品・その他	7.5%

投資環境と運用方針

当面のアジア株式市場の見通しにつきましては、各国の経済指標が概ね安定的に推移していることを受けて、米中貿易摩擦による悪影響やアジア新興国からの資本流出に対する過度な警戒感が後退し、堅調な展開になると考えます。各国政府は消費促進に重点を置いた政策を打ち出していることを受けて消費拡大への期待が高まる中、小売株や不動産株、金融株などは底堅い展開になると考えます。一方、市場競争の激化や金融費用の増加などから、先行きの収益性に対する不透明感が強まっている資源株や建設株などは上値の重い展開になると予想されます。

運用方針につきましては、企業業績や政治イベントの動向を見極めて、個別銘柄や国別ウェイトを調整します。各国政府が内需を促進する政策を強化していることから、株価バリュエーション面で相対的に割安感がある不動産株や銀行株のウェイトを引き上げます。また、スマートフォン新商品への期待が徐々に高まっていることなどから、エレクトロニクス株を買い増します。一方、需要不振や原材料価格の上昇により収益性悪化に対する警戒感がある資源株や食品株のウェイトを引き下げます。

以上

（作成：運用本部）

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、「アジア中小型株オープン」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



アジア中小型株オープン
追加型投信／海外／株式

アジア中小型株オープンに関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。ファンドは、アジアの株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替相場の変動により損失を被ることがあります。
- ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「流動性リスク」、「信用リスク」があります。

※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが見込まれる場合も同様です。
- 取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込みの受付を取消することがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

＜お客様が直接的に負担する費用＞

- 購入時
購入時手数料：購入価額×購入口数×上限3.78%（税抜3.5%）
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
換金手数料：ありません。
信託財産留保額：換金申込受付日の翌営業日の基準価額×0.3%

＜お客様が信託財産で間接的に負担する費用＞

- 保有期間中
運用管理費用（信託報酬）
：純資産総額×年率1.674%（税抜1.55%）
- その他費用・手数料
監査費用：純資産総額×年率0.01296%（税抜0.012%）
- 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、海外における資産の保管等に要する費用等を信託財産でご負担いただきます。
（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。

販売会社

(受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。なお、販売会社には取次証券会社が含まれております。)

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
(金融商品取引業者)					
岡三証券株式会社	関東財務局長(金商)第53号	○	○		○
岡三オンライン証券株式会社	関東財務局長(金商)第52号	○	○	○	
岡三にいがた証券株式会社	関東財務局長(金商)第169号	○			
阿波証券株式会社	四国財務局長(金商)第1号	○			
三縁証券株式会社	東海財務局長(金商)第22号	○			
静岡東海証券株式会社	東海財務局長(金商)第8号	○			
荘内証券株式会社	東北財務局長(金商)第1号	○			
大山日ノ丸証券株式会社	中国財務局長(金商)第5号	○			
益茂証券株式会社	北陸財務局長(金商)第12号	○		○	
愛媛証券株式会社	四国財務局長(金商)第2号	○			

＜本資料に関するお問い合わせ先＞

フリーダイヤル **0120-048-214** (9:00～17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)